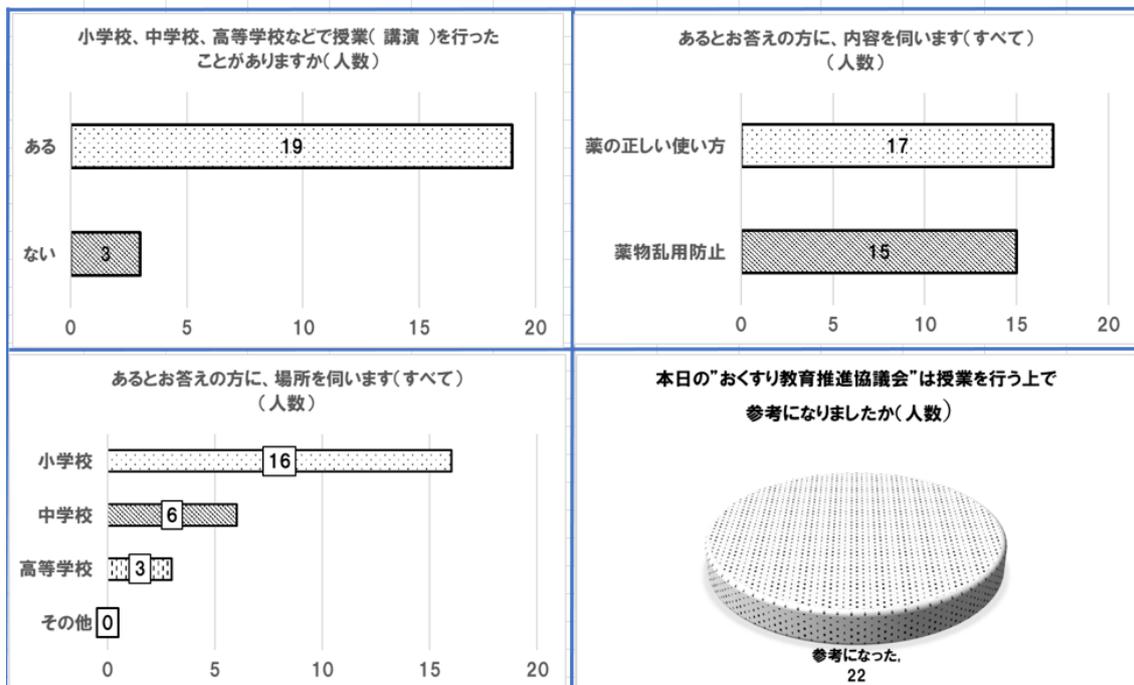


おくすり教育推進協議会（10）アンケートまとめ

おくすり教育推進協議会(10)(2024/03/16) 参加者51名 アンケート22名



アンケート結果（記述）

○構成・内容への要望

- ・最新の情報を頂けると助かります。
 - ・引き続き、ODについて知りたいです。
 - ・オーバードーズを意識したおくり教育の具体的な例を知りたいです。毎年、授業をしていてマンネリ化しているような感じです。年に1回くらいだとつい例年通りになりやすいところがありますので、ちょっとした工夫や表現のヒントをいただけたらと思います。
 - ・時代と共に乱用薬物や子供を取り巻く状況も変わってくる為、皆さんがどのような点を重要視したり、注意しているのか、事例(使用スライドやタイムスケジュール)を交えた意見交換などが出来たら参考になるので嬉しいです。
 - ・リモート開催で参加でき、ありがたいです。
 - ・リモート開催が良いです。（土曜日は仕事で、帰宅時間が分からないため）
 - ・現地に伺っての参加はなかなか厳しいのですが、リモートですと仕事終わりの電車等移動中でも参加出来るので嬉しいです。
 - ・顔を合わせる事も大事だと思いますが、リモートの方が参加はしやすいです。
 - ・リモート開催の参加しやすさは貴重です。対面の良さもありますが、広く知ってもらうことも必要。なるべく対面、リモートもあり のような設定もありでしょうか…
 - ・意見交換は対面で、今回のような講義はリモートが希望です。
 - ・リアル開催での意見交換、リモート開催での講義、どちらも良いと思います。（年間3回のうち、1回はリアル、2回はリモート、このバランスは良いと思います）
- テーマによっては、養護教諭に参加して頂くことも…

- ・よくある質問集などがあると良いかなと考えております。
- なぜ悪いのにこの世からなくならないのですか？薬物をやるとどんな罰がありますか？薬物をやってしまったとして、どれぐらいで良くなりますか？など

○感想

- ・最新のニュースや話題を取り上げて頂き、興味深い内容でした。
- ・お二人からのお話は、貴重な情報でした。ありがとうございました。
- ・船田先生、加藤先生のホットな情報や授業の取り組み方が聞けて、勉強になりました。学校からも求められているので、続編が聞きたいです。
- ・大麻の法制度が改正になったが、その内容がよくわかり、とても参考になりました。
- ・大麻の最新情報をお話しいただいたので、授業内容を更新することが出来ます。

・大麻の最新の情報、有難うございます。加藤先生の薬の正しい使い方の講演と同様に、私も生徒に添付文章から副作用や用法用量に妊婦授乳婦の話しを加え、自分の健康は自分で守ろうと話しています。また、先生からヒントを頂けたらと思います。

・オーバードーズについては、2月の授業で説明しました。児童から、「言葉はよく聞くけど、内容が分からなかったの、分かって良かったです。」と言ってもらえました。

これからも、日々更新出来ればと思っております。

・加藤先生の実践内容はとても参考になりました。ありがとうございます。

これからの学校薬剤師としての活動にたくさん生かすことができると思います。

・従来の中学のお薬授業では、なまぬるいので、オーバードーズを入れていきたい。

資料使わせて欲しいです。

・大変貴重な内容で、今後のお薬教室に役立てたいとおもいます。

・とても充実した内容を勉強させて頂き、とても嬉しいです。

・今後どうぞ宜しくお願い致します。

・学校では、アクティブラーニングとか学校保健にITの活用とか言われています。

自分の意見をすぐに回答する＝問題を確認し、自分の意見を出す、という行為は、一方通行にならず共有できてよかったと思います。

また、理解度が分かり、説明を付け加えたり、別の方向から話すこともできました。

時間制限がある中、毎年、工夫して理解してもらうには？と考えています。

・このような研修会の参加の機会をいただき感謝申し上げます。

京都府では学校薬剤師だけでなく、病院薬剤師、及び薬局薬剤師のODに関しての情報共有を進めようという動きがあります。

病院では、ODにより救急搬送されて治療にあたるが、その背景までには踏み込めず、また、各薬局でも、販売ルールが徹底されていないことが明らかになったりと、薬剤師としてきちんと取り組むことが必要となっています。学校薬剤師はこのような研修会に触れる機会が多いので、当たり前の問題意識を持つことができます。さらに多くの病院薬剤師・薬局薬剤師が学校薬剤師となり、学校薬剤師が増えることを期待してやみません。

また、こどもたちにとって、正しい知識だけでは、正しい判断につながらない場合があることを、喫煙指導において感じています。

全国学校保健安全研究大会での京都市の川岡東小学校のように1年から6年までの毎年、段階を追ってくすり教育を行い自尊心を育てる教育の発表がされていましたが、そのように、単発ではなく継続する必要性を感じました。また学校薬剤師だけでなく、様々な立場の方たちと連携をとり、こどもたちの成長に関わっていけるとよいと思っています。(残念ながら、川岡東小学校は学校の先生だけでされて、学校薬剤師は登場しませんでした。)新しい話題を素早く提供されるこの会を見習って、京都でも来年度も励みたいと思います。